噂の娘（1935）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 55分
初公開日 1935/12/22

【解説】
チェーホフの『桜の園』にヒントを得て、成瀬巳喜男が脚本・監督を務めた作品。「妻よ薔薇のやうに」に続き、後に成瀬夫人となる千葉早智子が主役を演じた。
健吉は妻を亡くし、長女の邦江と一緒に酒屋を営んでいた。しかし隠居中の義父が浪費家で、店の経営は苦しくなるばかり。また次女の紀美子は毎晩のように男友達と遊び歩いていた。邦江は店の経営を立て直すため、家柄の良い相手と見合いをすることに。また彼女は、自分が家を出て行くことで、父の愛人に家に来てもらおうとも考えていた。しかし見合いは紀美子のせいでうまくいかないばかりか、見合い相手を紀美子に取られてしまう。そんな折、健吉は酒に細工をして利益を上げようとしていた…。

【クレジット】
演出 成瀬巳喜男
脚本 成瀬巳喜男
撮影 鈴木博
美術 山崎醇之輔
音楽 伊藤昇
出演 汐見洋 啓作
御橋公 健吉
千葉早智子 邦江
梅園龍子 紀美子
伊藤智子 お葉
藤原釜足 叔父
大川平八郎 新太郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.